

令和4年10月

町長日誌

秋晴れの日が続いていましたが、ここ数日の雨により気温がぐっと低くなり、北海道や東北地方の一部からは雪の便りが届くようになりました。そんなことを思っていたら、今日は大山の初冠雪のニュースが飛び込んできました。昔から、大山の初雪から1ヶ月ほどで日南町に初雪が降ると言われています。そろそろ冬支度が必要な時期となり、すでにこたつを出されているお宅もお見掛けしました。日本の暖房器具のお出ましです。こたつといえば現在は電気こたつが主流ですが、以前は豆炭や練炭などのこたつもありました。足元からしっかり温まるので、上半身は暖かいものを着ていれば心地よく、横になればうたた寝をしてしまうほど気持ちが良いものです。冬はこたつが一番ですね。

さて、秋本番となり、日南町内でもさまざまなイベントが企画されています。各地域では秋の文化祭が計画されており、地域の食材を活用した食べ物の販売や地域の方々の作品展示などが行われ、例年人々が寄り合う良い機会となっています。町の主催イベントとしては「にちなんふる里まつり」も開催します。また、昨年多くのご来場があった旧日野上小学校にある銀杏の木鑑賞のためのシャトルバス運行も来月5日から始まります。少しずつではありますが、このようなイベントもコロナ禍前の姿を取り戻しつつあるのではないかと思います。人々が顔を合わせれば、「久しぶり」ではなく、普通の気軽なあいさつが交わせるように早くなつてほしいと願っています。これからの季節、例年なら忘年会や新年会のシーズンになりますが、このような人々が集う機会を躊躇せず開催できる日が早く来ることを切に望んでいます。

一方では、急速な物価高が国民生活や事業活動に大きな影響を及ぼしています。この物価高の影響は、エネルギー・食品・肥料・資材等さまざまな分野に及び、生活に関わるすべてのものに対して影響を及ぼしていると言っても過言ではありません。政府は「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」を閣議決定したところですが、町としても対策を講じていき、少しでも皆様の生活の不安解消の一助になればと考えています。この物価高がいつまで続くのか予想もつきませんが、さまざまな要因があることなので、早々に価格が下がっていくことはないものとして考えていかなければならないのではと思っています。国は、物価上昇に負けない継続的な賃上げを目指す方向を考えていますが、物価はすでに上がっており待ったなしの状況です。賃上げまでの間の「総合経済対策」にまずは強力な対策を盛り込んでほしいと切に願うばかりです。

令和4年10月25日 日南町長 中村英明